

## ピックアップ事例



### うすき石仏ねっと（平成20年稼働）

うすき石仏ねっと運営協議会（大分県臼杵市：平成27年発足）

☎ 0972-62-5615（受付時間 平日8:30～17:00）

📄 [公式ホームページ](#)

※令和2年2月時点

#### 全体概要

- 概要
- システムの特徴
- 成功のポイント
- 構築する方へのメッセージ

#### 計画Step

1. 地域課題、要求事項の抽出
2. 必要性の検討
3. 事業の成立と変遷
4. 事業運営主体の組織の設置
5. 個人情報保護方針などの作成
6. ガイドライン・標準化規格などの確認
7. システム化方針決定
8. 事業計画・収支計画の立案

#### 構築Step

1. 工程管理
2. 仕様書作成・調達
3. 要件定義・設計
4. 構築

#### 運用Step

1. 運用に向けた文書作成
2. システム運用保守体制決定
3. 参加機関の募集・説明・契約
4. 参加患者の手続き

## 計画Step

### 1.地域課題、要求事項の抽出

#### (1) 地理的特徴

大分市、由布市、津久見市と共に大分県の中部医療圏を構築する臼杵市の人口は平成元年12月現在で約3万8000人、高齢化率は約35%である。過去10年間で少子高齢化が進むなかで市行政は持続可能な地域コミュニティづくりに力を入れてきた。地域包括ケアシステムの構築もその一つで、近年では市外からの移住・定住者が増えるなど成果が上がりつつある。

#### (2) 医療供給

臼杵市の医療機関は病院が4施設、診療所が27施設だ。交通事故のような多発外傷、脳梗塞・心筋梗塞・がんなど急性期の患者は大分市などにある急性期病院に搬送されることが多いが、地域の医療機関と急性期病院をつなぐ医療機関として昭和41年に臼杵市医師会はコスモス病院（現在198床）を開設した。急性期病床と地域包括ケア病棟を有し、急性期から回復期までの入院医療と在宅療養支援を担当している。

### 2.必要性の検討

地域の医療機関、コスモス病院、大分市などの急性期病院という、それぞれに特色のある医療資源を最大限に生かすと同時に、予防医療・在宅医療を充実させ医療費の削減を実現するためには、医療・介護に携わる多職種が参加した医療情報連携が欠かせない。それはコスモス病院を運営する臼杵市医師会にとっての大きな課題であった。

### 3.事業の成立と変遷

#### (1) 事業立ち上げの経緯

更改Step

「うすき石仏ねっと」の基礎となったのは、コスモス病院の医師が市内の医療機関の検査データを閲覧する目的で発案し平成15年に試験的に立ち上げたシステムである。システムに対する評価が高かったことから、平成18年にはシステムを地域の医療連携に活用するための臼杵市医師会情報化協議会が設立され、平成20年に「平成19年度地域診療情報連携推進事業」として「うすき石仏ねっと」が稼働するに至った。

### (2) 「在宅医療プロジェクト」との融合

事業内容が現在のような姿に成長するきっかけとなったのは平成22年、臼杵市が「認知症を考える会」と「糖尿病等生活習慣病対策ネットワーク」に参画することであった。これを機に医療、介護、行政が連携して取り組む考え方が関係者に定着したという。

さらに平成24年度に臼杵市医師会が厚生労働省の「在宅医療連携拠点事業」を受託したことから多職種連携の強化の流れは加速。「在宅医療連携プロジェクト」から革新的な取り組みがいくつも誕生した。こうしたなか臼杵市医師会は「うすき石仏ねっと」を同プロジェクトに取り込み、医療・介護の多職種連携ツールとして広く活用されるようになった。

ネットワークの技術的な改良も進み、「石仏カード」を提示することで情報共有の同意となる現在の仕組みが完成した。

### (3) 連携領域の拡大

多職種連携の考え方が浸透するにつれ「うすき石仏ねっと」に参加する施設は飛躍的に拡大した。平成25年に訪問看護ステーションが参加したのを皮切りに、保険薬局、福祉施設、歯科医院、介護事業所、臼杵市消防本部、市役所保険管理課、大分県中部保健所、市民健康管理センターが次々と参加し、現在の事業内容となった。平成27年からは「うすき石仏ねっと運営協議会」が運営主体となっている。

## 4. 事業運営主体の組織の設置

### (1) 運営主体の組織

うすき石仏ねっと運営協議会

(臼杵市、臼杵市医師会、臼津歯科医師会、臼津薬剤師会、介護施設の代表で構成される)

### (2) 理事の構成

- ・行政  
臼杵市  
臼杵市保険健康課長
- ・医師会  
臼杵市医師会副会長  
臼杵市医師会担当理事
- ・歯科医師会  
臼杵市歯科医師会長または副会長
- ・薬剤師会  
臼杵市薬剤師会長または副会長
- ・介護施設代表
- ・運営協議会代表  
(監事)
- ・大分県中部保健所長
- ・臼杵市議会教育民生委員長

## 5. 個人情報保護方針などの作成

### (1) 患者情報取扱規約および患者同意書の検討

システムが生まれる過程においては、臼杵市医師会情報化協議会が中心になり弁護士等と調整しながら「患者取扱規約」および「医療情報などの提供に関する同意書」を作成した。同意取得方法は1枚の同意書でネットワーク全体の同意を得る「包括同意」とした。協議会発足後は、臼杵市法務担当部署が確認調整を行っている。

## (2) 実際の医療情報の取り扱いについて

患者が「石仏カード」を提示した施設において、一定期間（60日間）情報を閲覧することができる。在宅医療・介護提供者が特別に同意した場合は、訪問看護ステーションや居宅事業所では（同意期間の間、最長1年間）カードなしでも情報を閲覧することができる。また、利用者が救急車を利用した場合や災害時など緊急時には、限られた場所（医療機関・消防署通信指令室）で、カードなしで情報を閲覧する場合がある。

## 6. ガイドライン・標準化規格などの確認

### (1) 準拠しているガイドライン

- ・医療情報システムの安全管理に関するガイドライン（厚生労働省）
- ・クラウドサービス事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン（総務省）
- ・医療情報を受託管理する情報処理事業者における安全管理ガイドライン（経済産業省）

### (2) 準拠している標準規格

SS-MIX2、PIX/PDQ、HOTマスター、JLAC10コード、JAHIS処方データ交換規約、NISIPS、JAHIS処方データ交換規約、DICOM、電子レセプト

### (3) 名寄せ方法

FeliCaカード配布による1患者1共通ID  
（各連携機関が患者番号、利用者番号を手入力で紐付け）

## 7. システム化方針決定

もともと医師会立病院が中心となっていたため、情報システム化は医師会検査センターの情報を有効活用することから始まった。そのため情報収集型のシステムを構築するにあたり既存のシステムでは対応が難しく独自のシステムを構築することとなった。

## 8. 事業計画・収支計画立案

### (1) 構築にかかった費用と負担分担

- ・初期費用：平成19年度地域診療情報連携推進事業  
総事業費 : 80,850,000円  
国補助 : 40,425,000円  
医師会負担 : 40,425,000円
- ・平成24～27年度の関連事業と初期費用も含めた総事業費  
総事業費 : 115,210,000円  
補助（国・県） : 80,209,000円  
自己資金 : 35,001,000円

### (2) 運用費用とその分担、費用対効果について

多彩な連携機能を搭載した「うすき石仏ねっと」の運営には下記のとおり年間約2,000万円が必要となる。参加施設からの利用料は平均的施設で年間5,000円であり合計400万円となり、残りを市と医師会が折半して補っている。一方、「糖尿病連携」の効果で新規透析導入数の減少などが見られ、白杵市の国民健康保険財政には年間1億円以上の抑制効果が生じている。

ランニング費用合計（年間）：21,500,000円

内訳 システム保守、回線保守費用：7,500,000円  
事務費用  
人件費 : 6,000,000円  
カード提供に係る費用 : 1,500,000円  
事務費、研修費、消耗品費 : 1,500,000円

ソフト改修費	: 2,000,000円
クラウドセンター費用	: 1,500,000円
バージョンアップ費用	
ハード更新積立	: 1,500,000円

[全体概要](#) > [計画Step](#) > [構築Step](#) > [運用Step](#) > [更改Step](#)

[< ピックアップ事例一覧へ戻る](#)

[< TOPへ戻る](#)

[ページの先頭へ戻る](#) 

[医療情報連携ネットワークはなぜ必要？](#)

- [出発点は地域医療を良くしたいという思い](#)
- [医療情報連携ネットワークの導入効果](#)
- [利用者の声（導入効果）](#)

[医療情報連携ネットワークをどう作る？](#)

- [医療情報連携ネットワークの構築手順](#)
- [実施のポイント](#)
- [利用者の声（苦労した点、成功要因）](#)
- [ガイドライン、書式例など](#)

[医療情報連携ネットワークの具体例を見る](#)

[医療情報連携ネットワークとは](#)

- [データで見る](#)
- [ピックアップ事例](#)
- [事例を探す](#)

[構築手順](#)

- [構築手順について](#)
- [Step1：計画](#)
- [Step2：構築](#)
- [Step3：運用](#)
- [Step4：更改](#)

[FAQ](#)

- [用語集](#)
- [お役立ち情報](#)
- [リンク集](#)
- [資料ダウンロード](#)